

令和2年度 当初予算の概要

新たな時代、三木創生ネクストステージへ向けた予算



三木市 Miki City

1. 予算規模

☆ 一般会計予算は、前年度より5億1,000万円増加の332億3,000万円で、過去最大

☆ 全会計の予算規模は、前年度より約8.5億円(1.5%)の増加

(単位:千円)

		令和2年度当初予算		平成31年度当初予算		対前年度比(歳出)	
		歳入	歳出(A)	歳入	歳出(B)	増減額 (A-B)	増減率 (A/B)
一般会計		33,230,000	33,230,000	32,720,000	32,720,000	510,000	1.6%
特別会計	国民健康保険特別会計	9,422,000	9,422,000	9,392,000	9,392,000	30,000	0.3%
	介護保険特別会計	6,996,000	6,996,000	6,985,000	6,985,000	11,000	0.2%
	農業共済事業特別会計			108,000	108,000	△ 108,000	皆減
	後期高齢者医療事業特別会計	1,434,000	1,434,000	1,386,000	1,386,000	48,000	3.5%
	学校給食事業特別会計	282,000	282,000	290,000	290,000	△ 8,000	△ 2.8%
企業会計	水道事業会計	2,092,725	2,690,932	2,126,734	2,426,695	264,237	10.9%
	収益的収支	1,960,783	1,809,465	1,992,948	1,781,511	27,954	1.6%
	資本的収支	131,942	881,467	133,786	645,184	236,283	36.6%
	下水道事業会計	4,024,404	4,903,763	3,922,187	4,797,473	106,290	2.2%
	収益的収支	2,598,106	2,547,424	2,632,288	2,626,612	△ 79,188	△ 3.0%
	資本的収支	1,426,298	2,356,339	1,289,899	2,170,861	185,478	8.5%
合 計		57,481,129	58,958,695	56,929,921	58,105,168	853,527	1.5%

2. 一般会計予算の特徴

「三木創生ネクストステージ」へ、7つの視点による重点取組

ま ち の ブランド化

- 「ゴルフのまち」として三木の名をブランド化、春のゴルフ甲子園の誘致

雇用の創出

- ひょうご情報公園都市次期工区整備の具体化に向け、県とともに調査に着手
- 中小企業や起業・第二創業を支援
- クラウドソーシングの推進

子育て支援

- 不妊治療費を助成
- 中学3年までの医療費無料
- 0～2歳児の保育料50%軽減
- 在家庭支援を充実

移住・定住 の 促 進

- 高齢化したニュータウンへ新たな世代の循環を促す「団地再耕プロジェクト」を推進

公共共通

- 神戸電鉄粟生線の増便
- 三木駅の駅前ロータリーや駅舎の整備

教 育

- 「GIGAスクール構想」の推進
- 学校の円滑な統合、小中一貫教育の導入に向けた研究

防 災

- 防災緊急通知システムの導入
- 避難所へ電源供給可能な電気自動車を配備



3. 一般会計予算（目的別）

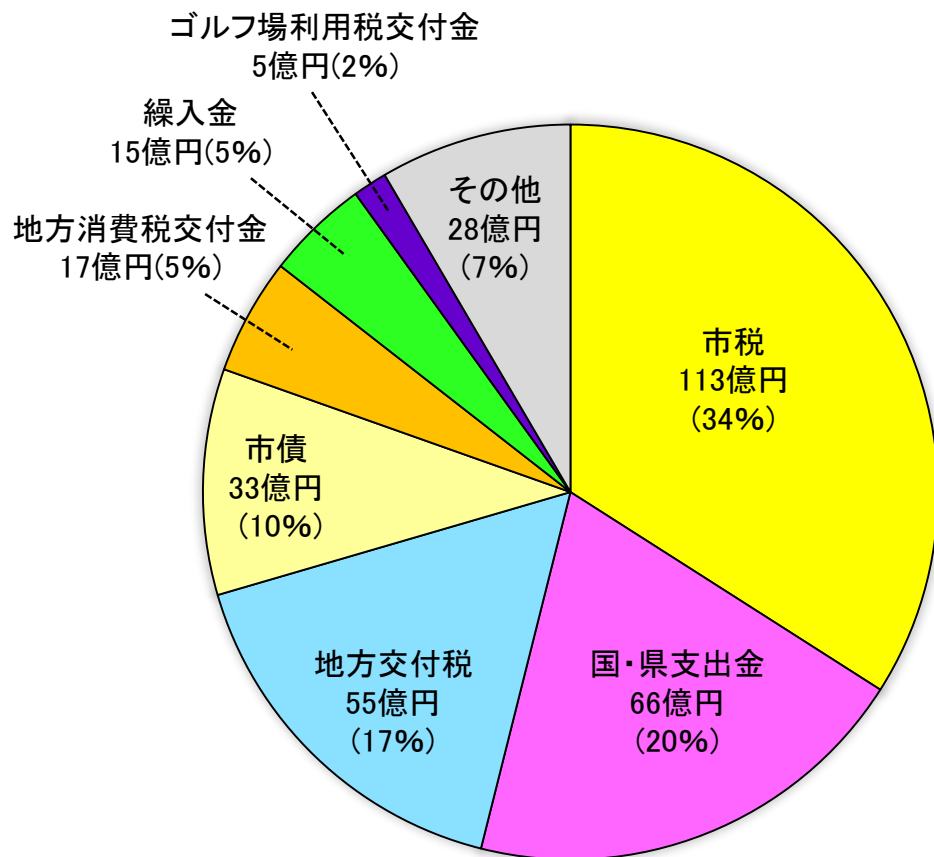
- ☆ 衛生費(22.7億円)は、吉川健康福祉センターの空調やクリーンセンターの改修などで、前年度比2.7億円(13.4%)増
- ☆ 土木費(24.1億円)は、自転車道や三木山総合公園野球場の整備など、前年度比3.1億円(14.5%)増
- ☆ 消防費(14.3億円)は、高機能消防指令システムの整備など、前年度比3.7億円(35.2%)増

目 的	令和2年度 当初予算	平成31年度 当初予算	増減額	増減率	主な増減要因
総 務 費	34.3億円	33.8億円	0.5億円	1.3%	ふるさと納税返礼品やマイナンバーカードの交付に係る事務費の増
民 生 費	123.9億円	125.9億円	△ 2.0億円	△ 1.5%	認定こども園等への給付費、児童手当・児童扶養手当などの減
衛 生 費	22.7億円	20.0億円	2.7億円	13.4%	吉川健康福祉センターの空調改修やクリーンセンター、塵芥処理施設の改修などの増
農 林 業 費	6.7億円	6.4億円	0.3億円	4.8%	有害鳥獣対策費などの増
商 工 費	12.5億円	14.4億円	△ 1.9億円	△ 12.9%	プレミアム付商品券事業の終了などによる減
土 木 費	24.1億円	21.0億円	3.1億円	14.5%	自転車道の整備や三木山総合公園野球場の防球ネット整備などの増
消 防 費	14.3億円	10.6億円	3.7億円	35.2%	高機能消防指令システムや防災行政無線の更新などの増
教 育 費	32.7億円	31.4億円	1.3億円	4.2%	吉川町公民館の耐震化工事や前年度に導入したタブレット端末の使用料、学校再編にともなう施設整備などの増
公 債 費	38.2億円	40.7億円	△ 2.5億円	△ 6.3%	臨時財政対策債や合併特例債などの償還が増加する一方、借換債が減(10.4億円→5.0億円)となるため全体として減
諸 支 出 金	18.6億円	18.6億円	0.0億円	0.0%	
そ の 他	4.3億円	4.4億円	△ 0.1億円	△ 1.2%	勤労者住宅資金預託金などの減
合 計	332.3億円	327.2億円	5.1億円	1.6%	

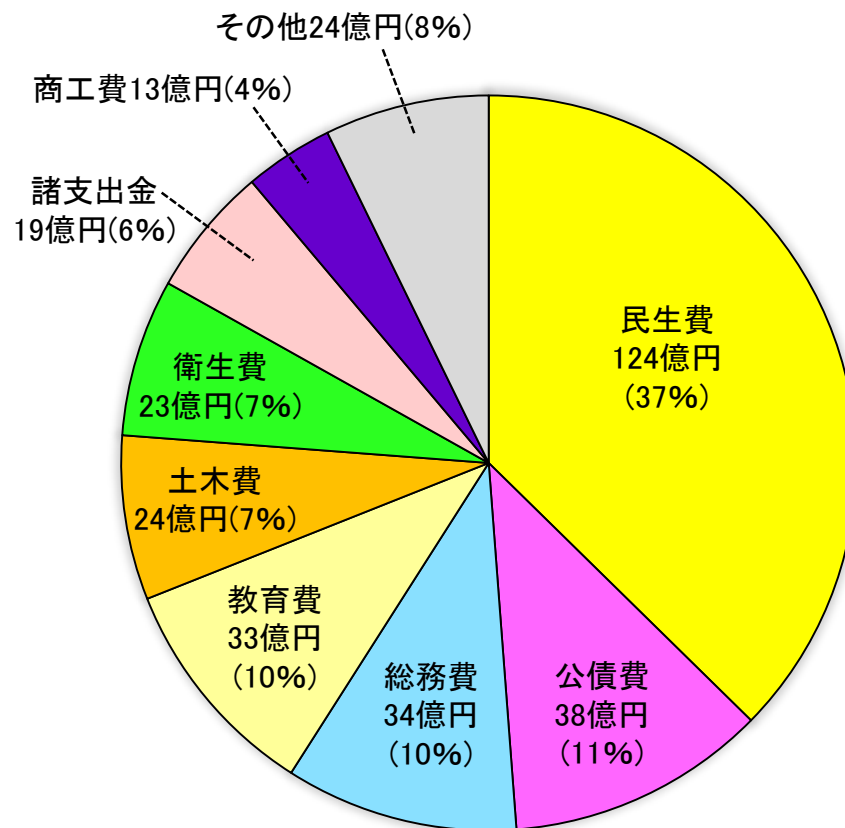
※ 増減率は、千円単位の額で比較

4. 一般会計予算（内訳）

歳入（約332億円）



歳出（約332億円）



5. 特別会計

国民健康保険

94億2,200万円（前年度比 +3,000万円、+0.3%）

- ☆ 財政状況改善に向けて財政健全化計画を策定
- ☆ 健康ポイント事業を推進
- ☆ 特定健診事業を拡充
- ☆ 財政支援のため一般会計から約2.4億円を繰入

介護保険

69億9,600万円（前年度比 +1,100万円、+0.2%）

- ☆ 第7期介護保険事業計画(H30年度から3年間)の最終年度となるため、次期(第8期)計画の策定に着手
- ☆ 引き続き「みっきい☆いきいき体操」などによる介護予防を推進

後期高齢者医療事業

14億3,400万円（前年度比 +4,800万円、+3.5%）

- ☆ 2年ごとの見直しにより保険料率を引上げ

学校給食事業

2億8,200万円（前年度比 △800万円、△2.8%）

- ☆ 市内産野菜の使用などにより地産地消を一層進めるため、一般会計からの繰入金が増(200万円)
- ☆ 児童・生徒数の減少にともない歳入・歳出ともに減

農業共済事業

- ☆ 特別会計を廃止
（兵庫県農業共済組合に事業引継ぎ）

特別会計予算総額

令和2年度	平成31年度	対 前 年 度	
		増減額	増減比
181.3億円	181.6億円	△0.3億円	△0.1%

6. 企業会計

安心しておいしく飲める水道水を安定して供給するとともに、河川や水路の水質を保全していきます。

水道事業

26億9,093万円（前年度比 +2億6,424万円、+10.9%）

- ◆ 主要管路を更新し耐震化を推進
- ◆ 西部浄水場改修工事に着手
- ◆ 配水池ポンプ場の水道施設の運転管理
- ◆ 自己水源である深井戸の適切な維持管理
- ◆ 配水・給水施設の適切な維持管理
- ◆ 県営水道受水費
- ◆ 停電時に備えた非常用電源装置の更新

下水道事業

49億376万円（前年度比 +1億629万円、+2.2%）

- ◆ 下水道管及びマンホール蓋の長寿命化
- ◆ 吉川浄化センターの長寿命化及び適切な管理運営
- ◆ 農業集落排水施設の適切な管理運営
- ◆ 加佐地区の雨水管渠の整備
- ◆ 加古川上流流域下水道負担金
- ◆ マンホール点検・管渠調査

企業会計予算総額

令和2年度	平成31年度	対 前 年 度	
		増 減 額	増減比
75.9億円	72.2億円	+3.7億円	+5.1%